

平成30年教科化!
(小学校)

これから求められる道徳教育

平成31年教科化!
(中学校)

学校は、「生きる力」を育む場です。「生きる力」の一部が「豊かな心」であり、「豊かな心」を育むのが道徳教育です。その道徳教育が抜本的に変わります。小学校は平成30年度に、中学校は平成31年度に「特別の教科 道徳」（以下道徳科）となります。

教科化を前に、なぜ教科となるのか？教科となったら何がどのようにわかるのか？そして、指導要領改定のポイントは何なのか？を確認していきたいと思います。

なぜ教科化なの？

「特別の教科 道徳」となります。教科化となった理由として、以下のことが挙げられます。

《社会的背景》

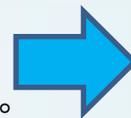
- 「いじめ」問題への対応。
(善悪の指導が求められている。)
- 高度化・複雑化した社会への対応。



困難な問題に主体的に対応できる実効性のある力を育成する必要がある。

《道徳授業の課題》

- 他教科に比べ軽んじられているのではないか。
- わかりきったことを発言させる授業に終始していないか。
- 「読み物」での心情理解に偏った形式的・受身的な授業となっていないか。



学校や教師によって差が見られる。

何がどう変わるの？

主体的に考え続ける道徳教育を目指しましょう！



- 「考える道徳」、「議論する道徳」への転換が求められます。
- 検定教科書が導入されます。
- 数値による評価ではなく、記述式での評価が求められます。

指導要領改定のポイントは？

道徳科の目標



道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度（道徳性）
で一体化され、シンプルになりました！

「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」

内容項目の整理

従来の1-（1）ではなく、A-（1）となりました。また、キーワードを設け、各学年の指導内容が整理されました！下記は、小学校のものです。



A 主として自分自身に関すること

（善悪の判断、自律、自由と責任）（正直、誠実）（節度、節制）（個性の伸長）
（希望と勇気、努力と強い意志）（真理の追究）

B 主として人との関わりに関すること

（親切、思いやり）（感謝）（礼儀）（友情、信頼）（相互理解、寛容）

C 主として集団や社会との関わりに関すること

（規則の尊重）（公正、公平、社会正義）（勤労、公共の精神）
（家族愛、家庭生活の充実）（よりよい学校生活、集団生活の充実）
（伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度）（国際理解、国際親善）

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

（生命の尊さ）（自然愛護）（感動、畏敬の念）（よりよく生きる喜び）

求められる道徳科

教科化になり、指導面での転換も
求められています！



- 問題解決的な学習（小：話し合い、中：議論）
- 複数時間を用いた指導、重点的な指導
- 体験的な学習等を取り入れる指導
 - ・ 体験的行為や活動そのものを目的として行うのではなく、それらを通じて学んだことを生かして考えることが大切。
- 現代的な課題に関する指導
 - ・ いじめ防止、安全、情報モラル、社会の持続可能な発展、社会参画等。